

令和8年度



9月ようちえんだより



二亀幼 HP

令和8年9月1日
江東区立第二亀戸幼稚園
園長 芦田 敦子

自分の命を守る

園長 芦田 敦子

夏休みが明け、子どもたちが元気いっぱいに登園してきました。久しぶりの友達との再会を喜んだり、夏の経験を嬉しそうに話したりして、心も体も一回り成長したことが感じられます。

さて、今年の夏は、日本各地で火災や地震、記録的豪雨などの災害が続きました。ニュースなどを通して、ご家庭でも防災について考える機会があったのではないのでしょうか。こうした災害は、いつ、どこで起こるか分かりません。だからこそ幼稚園では毎月、地震・火災・不審者・津波など、さまざまな状況を想定した訓練を行っています。

本園では、子どもたちが将来、自分で考え、判断し、主体的に行動できるようになることを大切にしています。日々の遊びや生活の中では、自分でやりたいことを見付けたり、友達と相談したりしながら主体性を育てています。防災教育も同じ考え方のもとに行っており、訓練は「決められた動きを覚える時間」ではなく、命を守るための行動を学ぶ大切な機会です。

幼児期の子どもたちは、周囲の大人の姿を見ながら行動を学んでいきます。訓練を通して、「地震のときは頭を守る」「煙があるときは姿勢を低くする」「知らない人にはついていかない」など、状況に応じた行動を少しずつ理解していきます。また、さまざまな場面を経験することで、「もしものときも大丈夫」という安心感や自信につながり、いざというときに落ち着いて行動する力を育てていきます。

もちろん、訓練の場では子どもが不安にならないよう、保育者が丁寧に寄り添いながら進めています。「怖いことを教える」のではなく、「自分の身を守る方法を知る」ことを目的にしており、子どもたちが安心して取り組めるよう、日頃から保育者同士で声掛けや進め方を工夫しています。

災害は、家庭で過ごす時間にも起こり得ます。ぜひご家庭でも、避難場所の確認や非常時の連絡方法、家具の固定など、できることから防災について話題にしてみてください。子どもと一緒に考えることは、家族みんなの安心につながります。園でも引き続き、子どもたちが安心して生活し、自分で考えて行動する力を育めるよう、日々の保育と防災教育の両面を大切に組み込んでまいります。

学年の目標

年中ばら組

- 夏休み前の遊びや夏休み中に経験したことを再現したり、教師や友達と関わったりしながら、安心して過ごし、園生活のリズムを取り戻す。
- 園生活のきまりや過ごし方を思い出し、自分の身の回りのことに自分で取り組もうとする。
- 様々な運動遊びに興味をもち、教師や友達と一緒に体を動かす心地よさを味わう。

年長ゆり組

- 夏休みの経験を友達と伝え合ったり、遊びに取り入れて楽しんだりしながら、園生活のリズムや友達との関係を取り戻す。
- 様々な運動遊びに取り組み、自分なりのめあてをもって挑戦したり、力を発揮したりする充実感を味わう。
- 友達と共通の目的に向かって力を合わせたり、励まし合ったりしながら取り組み、つながりや心地よさを感じる。